

 フルミストを接種される方・保護者の方へ

接種前の留意事項について

経鼻弱毒生インフルエンザワクチン「フルミスト」は、2歳以上～19歳未満の方が接種可能なワクチンであり、皮下接種の不活化インフルエンザワクチンと同等に推奨をされています。

ただし、飛沫や接触によりワクチン由来ウイルスの感染の可能性があるため、ワクチン接種後1～2週間は、乳児や重度免疫不全者等の感染リスクが高い方との密接な接触は控えてください。

副反応について

国内で認められた主な副反応としては、以下が挙げられています。

10%以上

鼻閉・鼻漏（59.2%）、
咳嗽、口腔咽頭痛

1～10%未満

鼻咽喉炎、食欲減退、
下痢、腹痛、発熱
活動性低下・疲労・
無力症、筋肉痛、
インフルエンザ

1%未満

発疹、鼻出血、
胃腸炎、中耳炎

頻度不明

顔面浮腫、蕁麻疹、
倦怠感、
ミトコンドリア脳筋
症の症状悪化

副反応出現時の留意点について

フルミスト接種後に副反応が生じた場合には、その症状により受診をご検討ください。

受診の際には、フルミストを接種された旨と接種日を受付時にお伝えください。

また、フルミスト接種後に発熱や咳嗽・口腔咽頭痛・筋肉痛などのインフルエンザ様症状が出た場合、「インフルエンザウイルスの迅速検査」と「抗インフルエンザウイルス薬の処方」に関し、下記の留意点がございます。

フルミスト接種後の一定期間は、ワクチンウイルスが残存していることから、迅速検査で陽性となる可能性があります

フルミスト接種後の一定期間内に抗インフルエンザウイルス薬を服薬することでフルミストの効果が減弱する可能性がある

フルミスト接種後のインフルエンザ様症状の出現時における キャップスクリニックの方針について

フルミスト接種後4週間は、ワクチン由来ウイルスの影響によって、陽性になる可能性があることから「インフルエンザ迅速検査」は原則実施していません。

※全身状態等の医学的観点から実施が望ましいと考えられる場合や社会的な証明が必要等のご事情がある場合の検査実施については、受診日の診察医師が判断した見解をご提案させていただきます。

フルミスト接種後の一定期間は、抗インフルエンザウイルス薬の内服は推奨されていないため、原則、接種後2週間は処方していません。

全身状態等の医学的観点から医師が必要と判断する場合に限っては、フルミストの効果が減弱する可能性をご理解いただいた上で、処方する場合はございます。

ご理解とご了承のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

